

データセンター 神岡鉾山の地下に モビリティ 利用料3分の1

モバイル技術ベンチャー
のモビリティ(東京、神原)
辰彦社長、03・54413



・7468)は来年四月にも、亜鉛などの採掘を中止した神岡鉾山(岐阜県神岡町)の地下空間にコミュニティセンターを集中管理するデータセンターを開設する。頑大な岩盤で空調や電力供給が整備されているため、開設コストが安くすむことが期待された。利用料金を一般的に抑えて企業の需要を開拓する。

六月末まで神岡鉾山で探

掘してきた三井金属の子会社、神岡鉾業から地下空間を賃借する。同鉾山の地下利用では東大宇宙線研究所が素粒子ニュートリノの観測施設「スーパーカミオカンデ」を設置しているが、事業用の施設を開設するのは今回が初めて。

データセンターはまず百万坪規模で開設し、需要に応じて拡大する。投資額は



はネット関連機器やサーバーを置くラックなどで約三億円。基本インフラが整っているため、初期投資はビルを賃借して開設する場合は

の三分の一以下ですむという。地下から外部へのネット接続では、岐阜県が敷設している光ファイバー回線を借り、実際の運用・管理についてはコンピューターメーカーに委託する。

主な顧客は関西・中部圏の大企業を想定しているほか、東京圏の企業にもバックアップ用として売り込む。来年一月中旬に予定し

ている坑内視察会には十数社が参加する見通し。神岡鉾業は鉾山での亜鉛や鉛の採掘中止後、石灰石

の採掘を継続する一方、地下空間を賃借して有効利用する方針を打ち出している。携帯電話を使った決済サービスなどへ生かす。

社が参加する見通し。神岡鉾業は鉾山での亜鉛や鉛の採掘中止後、石灰石の採掘を継続する一方、地下空間を賃借して有効利用する方針を打ち出している。携帯電話を使った決済サービスなどへ生かす。